

# 新潟脳神経研究会特別例会の御案内

日時：平成26年7月15日（火）18:00～19:00

場所：脳研究所 1F 検討会議室

（座長 高橋 均 新潟大学理事・副学長）

## 中田瑞穂先生の剖検報告 ～特に延髄病巣を中心に～

### 生田 房弘 先生

新潟大学名誉教授

新潟脳外科病院 ブレーンリサーチセンター

本学 外科学教室教授で、日本脳神経外科学創設の父とも言われた脳外科医 中田瑞穂先生は、亡くられる昭和 50（1975）年 82 歳の誕生日 4 月 24 日に自身の剖検依頼書を書き、手渡されました。

先生は、逝去された同 1975 年 8 月 18 日から 22 年余前の、60 歳とされた昭和 28（1953）年 4 月 30 日、Wallenberg 症候群の大小 2 回に亘る発作を経験され、直ちに同年 9 月の新潟医学会誌に、「私自身の体験した一延髄発症の観察手記」と題し、知覚異常を始めとする詳細な記録を残されました。これは医師による世界で第 2 例目の貴重な Wallenberg 症候群の自己観察手記とのことであります。

そして先生の剖検依頼はその病巣について、先生自身による病変分布の推察と、実態との比較を剖検で調べて欲しい、などの依頼でありました。以来 38 年間、途方もない時間を浪費致しましたが、ひとまずそれらの所見をここに要約し、ご報告とさせて戴きたく存じます。

どうぞ奮ってご参加ください。

（担当：病理学分野）  
新潟脳神経研究会幹事代表：西澤正豊